

第9分科会「施設介護」

- ◇運営委員 寺田雄 (日本医労連)
島崎朋之 (沖縄医療生協労働組合)
田村優実 (北海道医労連)
- ◇助言者 森山千賀子 (白梅学院大学 子ども学部 家族・地域支援学科教授)

◇分科会趣旨／問題提起

3年超のコロナとのたたかい。私たちは友人や仲間にあえず、利用者も家族や友人にあえずに、閉塞感の強い日を過ごしてきました。「生活の場」である施設において、人権と個別性を尊重するケアができない状況の中でジレンマを感じることもありました。

私たちは、直接会って、話して、聴いて、見て得た情報や思いを根拠に支援する専門職です。今回、全国の皆さんと直接会って話せることを楽しみにしています。まず、私たちがピア（同じ境遇の人との）サポートができて「さあ明日からも頑張ろう」と思えたら、モチベーションが上がって利用者の笑顔も増えるでしょう。「明日からの介護」を笑顔で実践できるよう、全国の実践レポートをもとに議論を深めましょう。

「介護施設」といっても多種多様です。特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、介護付有料老人ホーム、グループホームだけではなく、サービス付き高齢者住宅や長期宿泊利用のある小規模多機能型居宅介護や短期入所介護などで働く方も学び合える分科会です。

<レポート課題>

以下に関連する実践報告や研究結果をお寄せください。あくまで例ですので、合致しなくてもエントリー可能です。

- ・介護、ケアマネジメント、相談支援、多職種や地域との連携
- ・介護の質やチームケア力の向上、研修
- ・インシデント・アクシデントからの再発予防
- ・腰痛予防やノーリフト、ストレスチェック、ハラスメント防止などの労働安全衛生活動
- ・働き続けたい職場づくり、賃金や労働条件などの処遇改善
- ・介護保険制度の課題（利用者負担増、行政との懇談・交渉）
- ・学生および資格取得実習などの人材育成

<分科会内容（予定）>

- ① レポート報告、質疑応答
- ② 助言者による学習講演
- ③ 交流、グループワーク
- ④ 日本医労連「介護施設夜勤実態調査」結果報告